



デジタル化資料の全文テキストデータの 視覚障害者等への提供について

【事業の概要】



本日の説明会の構成：2つの送信サービスの位置付け（再掲）

本説明会の第1部

図書館送信/個人送信
(約232万点)

承認を受けた公共図書館、
大学図書館等

国立国会図書館の
登録利用者

国立国会図書館の館内
(東京本館、関西館、
国際子ども図書館)

誰でも、どこでも

絶版等資料

送信対象をこれに限定する
ために「除外手続」を実施

館内限定公開
(約180万点)

インターネット公開、送信サー
ビスの要件に合致しないもの

インターネット公開
(約66万点)

著作権保護期間満了、許諾、
文化庁長官裁定



デジタル化



デジタルコレクション

テキスト化



みなサーチ

★ 第2部

視覚障害者等

全文テキストデータの提供
(約319万点)

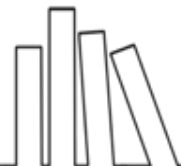
同じ形式の視覚障害者等用資料が
市場に流通していないもの

送信対象をこれに限定する
ために「確認手続」を実施

本事業の目的

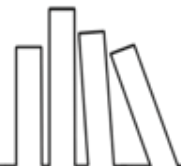
- 国立国会図書館のデジタル化資料は、「画像データ」の形で提供しています
- しかし、画像データのままでは、画面上の文字を音声で読み上げて利用する視覚障害者等の方には利用が困難です
- 一方で、デジタル化資料には全文検索のために、OCR（光学的文字認識）処理によって作成された「全文テキストデータ」があります

この「全文テキストデータ」を、国立国会図書館が2014年から行っている視覚障害者等向けのデータ送信サービスを通じて配信する事業です。



全文テキストデータとは

- 当館が提供するデジタル化資料（画像データ）から、OCR処理によって作成したテキストデータ（.txt）です
- OCRをかけたままの形で提供しており、校正は行っていません
- 現在は、図書（約163万点）・雑誌（約137万点）・博士論文（約17万点）など、計約319万点の全文テキストデータを提供しています
- 1987年までの図書や2000年までの雑誌など、比較的古い年代の資料が中心です



「視覚障害者等用データ送信サービス」と「みなサーチ」

- 国立国会図書館では、点字データやDAISYデータなどを、インターネット経由で配信する「視覚障害者等用データ送信サービス」を2014年から実施しています
- このサービスを通じて、**著作権法第37条第3項に基づき、視覚障害者等の方に限って**全文テキストデータを提供しています
- サービスの窓口となるのが、2024年1月に正式版を公開した「みなサーチ」
(国立国会図書館障害者用資料検索) です



みなサーチ

国立国会図書館障害者用資料検索



対象利用者①

- 全文テキストデータは、以下の視覚障害者等個人の方、国立国会図書館に登録している図書館等に配信します。
- 各図書館では、障害者手帳等により視覚障害者等に該当することを確認した方にのみ、配信を受けた全文テキストデータを提供します。

①視覚障害者等個人

障害者手帳や医師の診断書等の障害を示す文書、又は直接本人を目視で障害状況を確認する等により、視覚障害者等に該当する者として当館が確認した上で、サービスの利用者登録をした個人

②図書館等

視覚障害者等へのサービス提供体制が整備されていることを書面により当館が確認し、サービスを利用することを承認した図書館等（＝送信承認館）

対象利用者②

視覚障害者等
登録利用者数

1,000名
(2025年9月末現在)

送信承認館数

410館
(2025年9月末現在)

公共図書館	223
(都道府県立)	(41)
(市区町村立)	(182)
大学図書館	85
視覚障害者情報提供施設	32
学校図書館	64
その他	6

※送信承認館の一覧は「各サービスの承認館・参加館一覧」

(https://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual_partic_1.html) を参照



全文テキストデータの利用①

ヘルプ ログイン

 **みなサーチ**
国立国会図書館障害者用資料検索

簡易検索 すべての資料を検索します



校正済のデータに絞る ダウンロードできるデータに絞る

いろいろな検索

詳細検索 >
細かい条件を指定して検索

全文検索 >
本の内容をキーワードで検索

ジャンル検索 >
気になるジャンルを探そう

全文テキストデータの利用②

みなサーチ
国立国会図書館蔵書用資料検索

ヘルプ ログイン

全文検索

テキストデータのある本の本文を対象にして、キーワードで検索します。

キーワード 本のタイトルや著者

ダウンロードできるデータに絞る

すべての検索結果3,187,654 件中 1~20件 (著者：昇順)

結果を絞り込んだり並び替えたりするには [詳細検索](#)

◀ ◻ ▶

番号	タイトル	資料形態	著者	原本の出版者	原本の出版年	製作者	検索にヒットした箇所
1	T 10年のあゆみ <small>未校正</small>	ブレンテキスト	"10年のあゆみ"発刊編集委員会 編	全日本造船労働組合浦賀船渠分会	1957		ログインしてダウンロード
2	T 國法汎論 上帙 第一冊 首巻 <small>未校正</small>	ブレンテキスト	"Bluntschli, Johann Kasper 著"	文部省	1872/01/01	国立国会図書館	ログインしてダウンロード
3	T 國法汎論 下帙 第二冊 卷之六 中 <small>未校正</small>	ブレンテキスト	"Bluntschli, Johann Kasper 著"	文部省	1872/01/01	国立国会図書館	ログインしてダウンロード

視覚障害者等利用者としてのIDとパスワードを入力します。

ログイン

利用者ID

パスワード


ログインしたままにする

ログイン

[登録利用者IDをお忘れですか？](#)

[パスワードをお忘れですか？](#)

全文テキストデータの利用③



みなサーチ
国立国会図書館障害者用資料検索

ヘルプ 利用者情報

視覚障害者等用データ送信サービスの利用に係る注意事項

視覚障害者等用データ送信サービスは、国立国会図書館が各機関から収集した視覚障害者等用データと国立国会図書館が製作した視覚障害者等用データを、インターネット経由でダウンロードしてご利用いただけるサービスです。以下の注意事項をご確認の上、サービスをご利用ください。

- 1 本サービスをご利用いただける方は、あらかじめ当館から利用の承認を受けた、視覚障害その他の理由で通常の活字の印刷物の読書が困難な方及び図書館等です。
- 2 視覚障害者等用データは、視覚障害その他の理由で通常の活字の印刷物の読書が困難な方のために製作されたデータです。著作権法に定められた権利制限規定に該当する場合を除き、複製等による第三者への提供を固く禁じます。
- 3 本サービスの利用にあたって使用するID及びパスワードは厳重に管理し、ID及びパスワードを第三者に利用させたり知られたりしないようご注意ください。また、登録情報に変更があった場合は、速やかに変更を行ってください。
- 4 業務上、特に必要があると認めるときは、臨時に、本サービスの一部又は全部を休止する場合があります。

OK

視覚障害者等として初めてログインまたは初めてダウンロードする場合は、サービスの利用にあたっての注意事項の画面が表示され、確認ボタンを押下しなければダウンロードできません。



8799697.txt
364 KB・完了

全文検索

テキストデータのある本の本文を対象にして、キーワードで検索します。

キーワード 本のタイトルや著者

検索履歴

ダウンロードできるデータに絞る

すべての検索結果3,187,654 件中 1~20件 (著者：昇順)

結果を絞り込んだり並び替えたりするには [詳細検索](#)

番号	タイトル	資料形態	著者	原本の出版者	原本の出版年	製作者	検索にヒットした箇所
1	T 10年のあゆみ	未校正	ブレンテキスト	"10年のあゆみ"発刊編集委員会 編	全日本造船労働組合浦賀船渠分会	1957	国立国会図書館

ダウンロード

全文テキストデータの利用④

全文テキストデータの冒頭には、以下の趣旨のアナウンスを挿入しています。利用者の方には、注意事項を理解した上での利用を求めています。

- 全文テキストデータは、著作権法第37条第3項の規定に基づき、視覚障害者等に限定して提供するものであり、又貸しや複製等による第三者への提供はできません。
- 校正されていないテキストデータであり、OCRで読み込んだ後、人手による確認は行われていません。
- 未校正のデータであるため、校正を行った上で新たな視覚障害者等用データの製作が推奨されます。

全文テキストデータの利用状況

- 2024年度における全文テキストデータのアクセス件数は、月平均で約400件程度でした
- 一方、DAISYや点字データなどを含めた視覚障害者等用データ全体へのアクセス件数は、月あたり約76,000件でした
- そのため、全文テキストデータの利用は、全体の中ではまだごくわずかな割合にとどまっています
- 実際に利用された当事者の方からは、「アクセスできる資料が大幅に増えた」との声が寄せられています
- また、視覚障害者情報提供施設や学校図書館など、サービスへの参加館が増加しており、膨大な全文テキストデータを視覚障害者等への情報提供の新たな選択肢として活用しようとする動きが広がりつつあります



(参考) 全文テキストデータが必要とされる理由

テキストデータと音声資料（オーディオブック等）の違い

テキストデータ	音声資料 (オーディオブック等)
<ul style="list-style-type: none">● 音声利用<ul style="list-style-type: none">↳ スクリーンリーダーによる読み上げ↳ 詳細読みで1文字単位の漢字確認が可能● 画面表示の調整（白黒反転・文字拡大など）● 点字としての利用<ul style="list-style-type: none">↳ 点字ディスプレイへの出力が可能↳ 自動点訳ソフトによる点訳が可能↳ 盲ろう者は点字化できないと読書が困難	<ul style="list-style-type: none">● 音声利用<ul style="list-style-type: none">↳ 主に肉声による読み上げ↳ 文字単位の確認や点字化はできない

全文テキストデータの提供は、多様な利用環境や支援技術への対応を可能にし、より多くの方が読書にアクセスできる環境を支える基盤となります。